

株式会社丸山ステンレス工業

熊本県山鹿市

人材育成
ものづくり

新事業への挑戦と弛まぬ技術力向上への取組で 幅広い顧客ニーズに応え、自社ブランド確立を目指す

1973年、ステンレス精密板金加工に特化した、ものづくり企業として創業。「技術力を通してお客様の課題・要求を解決し、顧客を創造し続ける」をミッションに、最先端の加工機械と、職人達の手加工による匠の研磨技術と溶接技術の融合で、幅広い業種の顧客ニーズに対応。県内外の他業種企業とも幅広く連携し、新たな取組に積極的に挑戦。近年は「デザイン経営」の導入・実践を通じて、社員一丸となった自社ブランド商品の開発や、クラウドファンディングも実施。地域の雇用や人材育成にも貢献。

所在地 熊本県山鹿市鹿本町来民1017-2
電話/FAX 09-6846-3234 / 09-6846-5318
URL <https://www.maruyama-sk.co.jp/>
代表者 代表取締役 丸山 良博

設立 1973年
資本金 1,000万円
従業員数 34人



高い技術力で、幅広い顧客のニーズにきめ細やかに対応、取引を拡大

ステンレス薄板の精密板金には、加工ノウハウを熟知した設計能力と、細かい手加工の技術が必要。同社の技術力は、優秀板金製品技能フェアでも高い評価を受けている。和紙と糊のみで作られる、室町時代からの文化である国指定伝統的工芸品「山鹿灯籠」を、ステンレスで忠実に再現した製品を、第17回同フェアに出品して金賞を受賞。図面や寸法では表せない滑らかな仕上げが要求される、半導体、食品、鉄道等約10業種、年間約100社という幅広い顧客のニーズに、きめ細やかに、かつタイムリーに対応している。



ステンレスで再現した「灯籠」

デザイナーと連携した金属加工の匠が造る、コンパクト・タフ・多用途な焚き火台

受注メーカーとしてのみではなく、自社ブランドの構築を目指し、自社商品の開発を開始。デザイナーと連携し、社員一丸となって企画・設計から開発・販売までに取り組んでいる。強度維持のために細かい曲げ加工技術を研究し、2年の歳月をかけて自社ブランドの焚き火台「STEN FLAME」製造に成功。「デザイン経営」実践企業としてメディアからも注目された。開発にむけて初挑戦したクラウドファンディングでは、目標額30万円に対して、全国132名から約360万円の調達を達成。



焚き火台「STEN FLAME」

新たな取組への挑戦を通じ、地域雇用や地域の学生受入れに貢献

現社長は二代目であり、創業当時は建築資材向け薄板加工を主としていたが、承継後に取引先拡大に成功。地域のシルバー人材2名を10年以上に渡って継続雇用。育児休業、介護休業制度導入により、社員が働きやすい職場作りにも取り組んでいる。また、地元町内の高校生数名を、10年以上前から毎年1週間、インターンシップとして受入れている。ステンレス加工の全工程を履修させ、薄板加工による試作品製作も体験させ、当該高校からの卒業生の雇用を実現。地域の企業連合組織による人材交流等も実施している。



高校生インターンシップの様子

人材育成

ものづくり